

令和5年度ひとり親世帯等実態調査結果の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

ひとり親世帯等（母子世帯、父子世帯、両親のない子のいる世帯、寡婦世帯、寡夫世帯）の生活状況、生活意識等を調査し、ひとり親世帯等に対する福祉行政を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査方法

郵送で配布し、郵送またはオンライン調査の併用により回収した。

(3) 調査期間

令和5年7月31日から8月18日（当初）

※回収率の低迷により、調査票の回答期限について9月30日まで延長。

※前回調査の調査期間は、平成30年7月17日から7月31日。

(4) 対象者及び回収結果

令和2年国勢調査により設定された名古屋市内の調査区から、無作為に抽出した2,000地区を指定し、当該地区に居住する住民基本台帳の世帯構成等から両親のいる子の世帯など、調査対象世帯に該当しない世帯を除いた調査対象世帯に該当する可能性がある世帯について、母子世帯及び寡婦世帯については各1世帯、寡夫世帯については連続する2調査地区から各1世帯（いずれも該当世帯が存在しない場合は他地区より1世帯）、父子世帯及び両親のない子のいる世帯については全世帯を対象とした。

【大人調査票】

回答者	抽出数	回収数	回収率
母子世帯	2,000世帯	575世帯	28.8%
父子世帯	517世帯	118世帯	22.8%
両親のない子のいる世帯	16世帯	6世帯	37.5%
寡婦世帯	2,000世帯	769世帯	38.5%
寡夫世帯	1,000世帯	250世帯	25.0%
合計	5,533世帯	1,718世帯	31.1%

【子ども調査票】

回答者	抽出数	回収数	回収率
母子世帯、父子世帯、両親のない子のいる世帯に含まれる10歳以上18歳未満の児童（複数名存在する場合は、最年長の児童を調査対象とする。）	1,346世帯	292世帯	21.7%

2. 主な指標の推移

【母子世帯と父子世帯の状況】

	母子世帯	父子世帯
1. 世帯数（推計値）	24,820 世帯 (25,986 世帯)	2,424 世帯 (2,973 世帯)
2. ひとり親世帯になった理由	離婚 74.8% (78.4) 未婚 13.2% (13.6) 死別 8.9% (5.6)	離婚 65.8% (69.1) 死別 27.8% (23.6)
3. 就業状況	88.8% (90.7)	97.5% (90.8)
4. 世帯の平均年間総収入	317.9 万円 (319.3 万円)	659.6 万円 (570.4 万円)
5. 名古屋市の施策等で期待すること	①相談事業の充実 51.6% (69.4) ②経済的支援の充実 48.9% (31.0) ③子どもの学習・教育支援の充実 22.2% (16.6)	①相談事業の充実 41.8% (73.1) ②経済的支援の充実 34.5% (22.1) ③子どもの学習・教育支援の充実 21.8% (8.7)

※（ ）の値は、前回（平成30年度）の調査結果を表している。

※「世帯の平均年間総収入」は、令和4年の1年間の収入

3. 結果の概要(大人調査)

(1) ひとり親世帯の親の年齢（報告書 P.13~14、160~161）

	母子世帯	父子世帯
平均年齢	42.8 歳	48.6 歳
10 代	0.0%	0.0%
20 代	7.4%	1.3%
30 代	25.7%	11.4%
40 代	43.0%	39.2%
50 代	23.4%	41.8%
60 歳以上	0.4%	6.3%

(2) ひとり親世帯の人員の状況（報告書 P.17~19、163~165）

	母子世帯	父子世帯
平均世帯人員	2.85 人	2.76 人
子ども以外の同居者がいない世帯	76.0%	74.7%

(3) ひとり親世帯の子の人数（報告書 P.20~23、166~168）

	母子世帯	父子世帯
平均人数	1.68 人	1.65 人

(4) ひとり親世帯になった理由 (報告書 P. 25~26、170)

	母子世帯	父子世帯
離婚	74.8%	65.8%
死別	8.9%	27.8%
未婚	13.2%	0.0%

(5) ひとり親世帯の困っていること【複数回答】 (報告書 P. 33~36、176~178)

	母子世帯	父子世帯
困っている ことがある	89.9% <ul style="list-style-type: none"> 子どもの教育や将来 : 55.3% 生活費 : 53.9% 仕事 : 31.8% 	85.3% <ul style="list-style-type: none"> 子どもの教育や将来 : 57.4% 家事 : 30.9% 仕事 : 27.9%

※内訳は、回答が多かった上位3項目を示している。

(6) ひとり親世帯の住まい (報告書 P. 41~45、183~187)

	母子世帯	父子世帯
住まい	民営の賃貸住宅 : 30.1%	持ち家 : 63.8%
	持ち家 : 28.3%	市営住宅 : 12.5%
	親族と同居 : 12.6%	民営の賃貸住宅 : 11.3%
	市営住宅 : 12.6%	

※内訳は、回答が多かった上位3項目を示している。

(7) ひとり親世帯の就業状況 (報告書 P. 54~59、196~199)

	母子世帯	父子世帯
現在の就業状況	仕事についている : 88.8%	仕事についている : 97.5%
	<ul style="list-style-type: none"> 雇用されている : 81.6% 自営業 : 7.0% 内職 : 0.2% 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用されている : 86.1% 自営業 : 11.4% 内職 : 0.0%
	仕事についていない : 11.2%	仕事についていない : 2.5%
雇用されている者の 雇用形態	正規採用 : 48.0%	正規採用 : 91.9%
	アルバイト・パート : 38.7%	アルバイト・パート : 4.8%
	契約社員 : 5.1%	家族従業者 : 1.6%
ひとり親になった 当時の就業状況	仕事についていた : 66.1%	仕事についていた : 98.8%
	仕事についていなかった : 33.9%	仕事についていなかった : 1.3%

※雇用されている者の雇用形態の内訳は、回答が多かった上位3項目を示している。

(8) ひとり親世帯の年収の状況 (報告書 P. 81~82、216~217)

	母子世帯	父子世帯
世帯の平均年間総収入	317.9 万円	659.6 万円

(9) ひとり親世帯の養育費の取り決め状況 (報告書 P. 95~98、227~229)

	母子世帯	父子世帯
取り決めをしている	71.8%	59.6%

(10) ひとり親世帯の面会交流の取り決め状況 (報告書 P. 104~108、234~238)

	母子世帯	父子世帯
取り決めをしている	59.4%	54.9%

(11) 離婚する前に知りたかった情報【複数回答】 (報告書 P. 116~117、244)

	母子世帯	父子世帯
知りたかった情報がある	92.2% [経済的支援の情報 : 63.0% 相談窓口の情報 : 31.7% 子どもの学習・教育支援の情報 : 25.5%]	76.5% [経済的支援の情報 : 35.3% 子どもの学習・教育支援の情報 : 31.4% 家事や介護の支援の情報 : 19.6%]

※内訳は、回答が多かった上位3項目を示している。

(12) ひとり親世帯の子どもについての悩み【複数回答】 (報告書 P. 118~120、245~246)

	母子世帯	父子世帯
悩みがある	80.5% [教育・進学 : 64.5% しつけ : 28.4% 育児 : 22.3%]	78.5% [教育・進学 : 62.0% しつけ : 27.8% 就職 : 21.5%]

※内訳は、回答が多かった上位3項目を示している。

(13) ひとり親世帯のワーク・ライフ・バランスの悩み【複数回答】 (報告書 P. 145~147、266~267)

	母子世帯	父子世帯
悩みがある	83.8% [精神的にゆとりがない : 41.4% 仕事が忙しくて、子どもと接する時間が少ない : 34.0% 仕事が忙しくて、家事等、家のことに手がまわらない : 30.7%]	78.7% [精神的にゆとりがない : 32.0% 仕事が忙しくて、家事等、家のことに手が回らない : 30.7% 仕事が忙しくて、子どもと接する時間が少ない : 24.0%]

※内訳は、回答が多かった上位3項目を示している。

(14) ひとり親世帯の福祉施策の利用状況 (報告書 P. 150~153、270~273)

	母子世帯	父子世帯
利用したことがある	ひとり親家庭等医療費助成 : 87.7% 名古屋市ひとり親家庭手当 : 83.1% 児童扶養手当 : 83.0%	就学援助 : 69.6% ひとり親家庭医療費助成 : 51.7% 中学生の学習支援事業 : 50.0%

※内訳は、回答が多かった上位3項目を示している。

(15) ひとり親世帯の名古屋市の施策等で期待すること【複数回答】(報告書 P. 156~158、274~275)

	母子世帯	父子世帯
期待すること	相談事業の充実 : 51.6% 経済的支援の充実 : 48.9% 子どもの学習・教育支援 : 22.2%	相談事業の充実 : 41.8% 経済的支援の充実 : 34.5% 子どもの学習・教育支援 : 21.8%

※内訳は、回答が多かった上位3項目を示している。

4. 結果の概要(子ども調査)

(1) 学年 (報告書 P. 518)

学年	全体
小学生(5、6年生)	19.0%
中学生	37.2%
高校生	40.6%
専門学校等	0.4%
就職している	0.8%
その他	2.0%

(2) 自分のことが好きか (報告書 P. 493)

全体	
① どちらかと言えば好き	: 51.2%
② 好き	: 25.0%
③ どちらかと言えば嫌い	: 16.1%
④ 嫌い	: 7.7%

(3) 今の生活の満足度 (報告書 P. 496~497)

全体	
① どちらかと言えば満足している	: 41.5%
② 満足している	: 35.5%
③ どちらかと言えば満足していない	: 15.3%
④ 満足していない	: 7.7%

(4) 経済的な生活レベル (報告書 P. 476~477)

全体	
① どちらとも言えない	: 39.4%
② まあまあ豊かだ	: 25.2%
③ やや苦しい	: 15.9%
④ かなり豊かだ	: 12.6%
⑤ かなり苦しい	: 6.9%

(5) 自分専用の持ち物 【複数回答】 (報告書 P. 474~475)

全体	
① 勉強道具・参考書	: 86.7%
② スマートフォン・携帯電話	: 85.5%
③ 自転車	: 74.3%

※回答が多かった上位3項目を示している。

(6) 悩んでいることや困っていること【複数回答】 (報告書 P. 489~490)

全体	
① 勉強のこと	: 49.2%
② 将来のこと	: 44.4%
③ 性格のこと	: 22.2%

※回答が多かった上位3項目を示している。

(7) 悩んでいることや困っていることの相談相手【複数回答】 (報告書 P. 491~492)

全体	
① お母さん	: 60.5%
② 友だち	: 53.5%
③ 担任の先生	: 18.9%

※回答が多かった上位3項目を示している。